

令和6年度「慢性の痛み解明研究事業」における事後評価について

令和7年7月

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
データ利活用・ライフコース研究開発事業部
ライフコース研究開発課

事後評価は、各課題の研究開発の実施状況、研究開発成果等を明らかにし、今後の研究開発成果等の展開及び事業等の運営の改善に資することを目的として実施します。

慢性の痛み解明研究事業では、本事業における事後評価の評価項目に沿って、課題評価委員会において、書面・ヒアリングによる事後評価を実施しました。

●総評

本研究事業では、原因が明らかでなく対応に苦慮する痛みや、適切な対応を行っているにもかかわらず残存する痛みを対象に、画期的治療法を開発する上での客観的指標に基づく介入群の設定あるいは治療法に資するシーズを発見することを目標としています。

●対象1課題(令和6年度終了)

研究課題「髄液リピドミクス解析による慢性の痛みの解明および医療への展開」について、神経障害性疼痛のバイオマーカー開発は重要な課題であり、本研究では、脊柱管狭窄症患者を含む多くの髄液サンプルのリピドミクス解析により、生理活性脂質（リゾリン脂質：リゾホスファチジルコリン）が手術適応の鑑別に有用であることを見出した。

NO.	研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職
1	髄液リピドミクス解析による慢性の痛みの解明および医療への展開	蔵野 信	東京大学	准教授

●評価のスケジュール

書面審査実施期間	令和7年6月6日(金)～7年6月20日(金)
面接（ヒアリング審査）審査	令和7年6月30日(月)

●課題評価委員 名簿

N0	課題評価委員	
	氏名	所属・役職
1	上野 雄文	国立病院機構 肥前精神医療センター 院長
2	○小幡 英章	埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科 教授
3	河野 達郎	千葉大学医学部附属病院 麻酔・ペインクリニック・緩和ケア科 特任教授
4	清水 栄司	千葉大学 痛みセンター 教授、副センター長
5	田辺 久美子	岐阜大学 大学院医学系研究科 麻酔疼痛制御学分野 准教授
6	橋口 さおり	聖マリアンナ医科大学 緩和医療学講座 教授
7	細井 昌子	九州大学 九州大学病院 心療内科・集学的痛みセンター 副センター長
8	◎松原 貴子	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授
9	村上 正晃	北海道大学 遺伝子病制御研究所 教授
10	森岡 徳光	広島大学 大学院医系科学研究科薬効解析科学 教授

※氏名の前の符号は、◎は当委員会委員長、○は当委員会副委員長であることを表示。

●PS・P0 名簿

役割	氏名	所属・職名
PS	牛田 享宏	愛知医科大学 医学部 疼痛医学講座 教授
P0	天谷 文昌	京都府立医科大学 医学部医学科疼痛・緩和医療学教室 教授
P0	中江 文	国際電気通信基礎技術研究所 石黒浩特別研究所 主任研究員

●評価項目

- ①研究開発達成状況
- ②研究開発成果
- ③実施体制
- ④今後の見通し
- ⑤事業で定める項目及び総合的に勘案すべき項目
- ⑥総合評価

以上